

今明かされるその真の実力を見よ!

城下町八代を創った男は只者ではなかった!

ただもの

秋季特別展覧会 八代の歴史と文化 22 入城 400 年記念

八代城主・加藤正方の遺産



関連イベント
やつしろ
連歌会

会場

12月1日(土) 13時~16時30分

八代市立博物館講義室 ※見学無料・事前申込み不要

全国各地の名だたる宗匠が一堂に会し、
加藤正方や西山宗因が愛した連歌を八代で初興行!

【事前学習会】

「あなたにも詠める連歌の魅力」

講師 尾崎千佳 (山口大学人文学部准教授)

※聴講無料・事前申込み不要

◆日時 10月28日(日) 14時~15時30分

◆会場 宮嶋利治学術財団ホール

八代市松江本町5-9 電話〇九六五-三三八五〇

2012.10.26【金】-12.2【日】
八代市立博物館未来の森ミュージアム

●観覧料／一般600円(480円) 高大生400円(320円) 中学生以下無料 ※ ()内は20名以上の団体料金
※11月3日(文化の日)は無料開館日

●開館時間／9時~17時(入館は16時30分まで) ●休館日／毎週月曜日

【特別講演会】 いずれも14時~15時30分 博物館講義室にて 聴講無料

①10月27日(土)「ここまでわかった八代城主・加藤正方」 講師 鳥津亮二(本館学芸員)

②11月10日(土)「加藤正方から宗因・芭蕉へー八代から生まれた連歌・俳諧の潮流ー」 講師 鳥津亮二(本館学芸員)

●主催／八代市立博物館未来の森ミュージアム・八代市・熊本日日新聞社

●協賛／公益財団法人宮嶋利治学術財団・八代市立博物館友の会

●お問合せ／八代市立博物館未来の森ミュージアム 〒866-0863 熊本県八代市西松江城町12-35

TEL.0965-34-5555 FAX.0965-33-9200 <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/>



かとう きよまさ ただひろ つく かとう まさかた せま
加藤清正・忠広を支え、八代城下町を創った男・加藤正方の実像に迫る！

江戸時代のはじめ、八代(松江)城を造り、八代城下町の基礎を築いた加藤正方(1580-1648)。これまでその人物像は謎に包まれていましたが、近年関係資料の発見が相次ぎ、その調査の結果、加藤家筆頭家老・八代城主・連歌巧者・文化人・幅広い交友など多様な個性の持ち主だったことが明らかになってきました。慶長17年(1612)に正方が八代に入城して今年で400年。この節目を記念して、全国各地からゆかりの品々70余点を集めて一堂に展示し、加藤正方の実像と後世に残した「遺産」について紹介します。



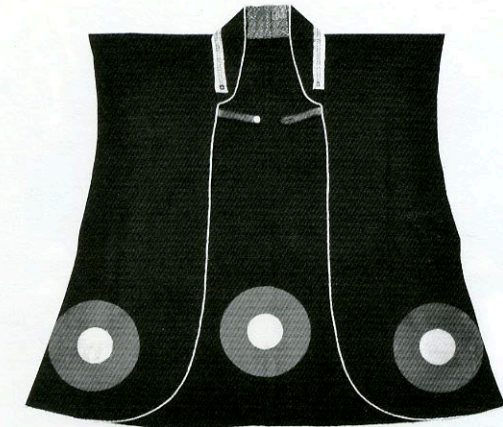
新発見の加藤清正画像、初公開！
 加藤清正画像 江戸時代前期(17世紀) 個人蔵



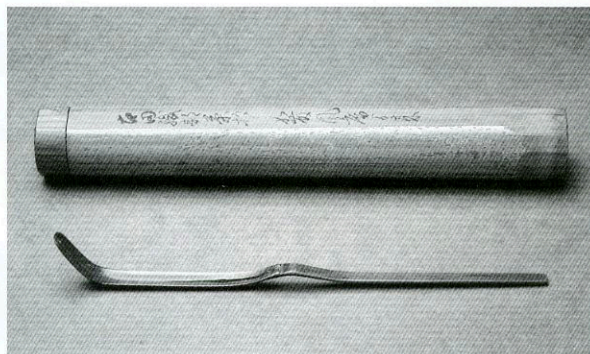
八代城主(在任期間1612~32)加藤正方の木像
 木造加藤正方坐像 文化5年(1808) 浄信寺所蔵



正方の子孫の家に伝来した家紋入りの具足
 萌葱絲威二枚胴具足 江戸時代中期(18世紀) 八代市立博物館所蔵



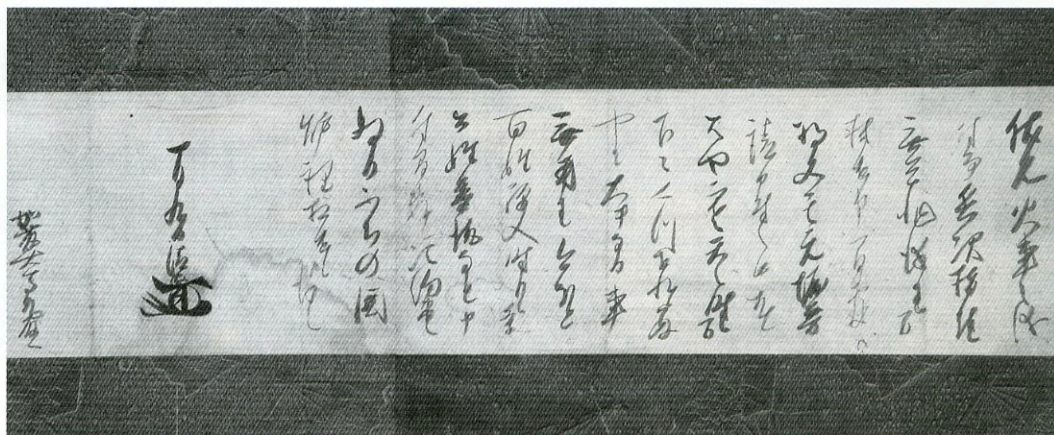
加藤正方が清正から拝領したと伝わる陣羽織
 蛇目紋黒羅紗陣羽織 江戸時代前期(17世紀) 八代市立博物館所蔵



正方が武將茶人上田宗箇に贈った古田織部作の茶杓
 竹茶杓 古田織部作 江戸時代前期(17世紀) 財団法人上田流和風堂所蔵



正方の名パートナー・西山宗因と井原西鶴のコラボ作品
 花見西行図 宗因賛 西鶴画 江戸時代前期(17世紀) 公益財団法人柿衛文庫所蔵

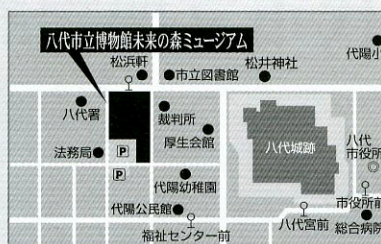


加藤清正が正方の父・加藤可重に送った書状
 加藤清正書状 慶長8年(1603) 財団法人島田美術館所蔵

○交通のご案内

- [JR] 鹿児島本線・肥薩おれんじ鉄道八代駅下車3km
九州新幹線新八代駅下車6km
- [バス] 八代駅・新八代駅西口から「検察庁・法務局・市博物館前」
「北荒神町福祉センター前」「八代市役所前」いずれかのバス停下車
- [車] 八代I.Cから八代港線に入り、田中西町交差点を左折(南下)
松浜軒前交差点を右折すぐ ※大型バス4台、普通車40台駐車可

八代市立博物館
 未来の森ミュージアム
<http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/>



大型バス4台、普通車40台駐車可

〒866-0863
 熊本県八代市西松江城町12-35
 TEL0965-34-5555
 FAX0965-33-9200

